



LEARN with
ソフトバンク 魔法のプロジェクト

「魔法のキャラバン」

学びの壁を越えるために

読み書きや学校生活の困難をサポートするための
ICT 機器活用講演会・機器体験会

午前：親子・支援者向けプログラム 午後：教員向けプログラム

in 北海道



あなたの街に
個別最適な学びの専門家がうかがいます。
ぜひ実際に体験を試してみてください。

参加費 無料

開催日程 **2025. 1. 10 (金)**

開催場所 **北海道札幌視覚支援学校** (札幌市中央区南14条西12丁目1番1号)

※会場には公共交通機関にてお越しいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

共催：東京大学先端科学技術研究センター 個別最適な学び寄付研究部門、ソフトバンク株式会社

協力：北海道教育委員会、北海道札幌視覚支援学校、北海道函館盲学校、北海道旭川盲学校、北海道帯広盲学

学びの壁を越えるために

～読み書きや学校生活の困難をサポートするための ICT 機器活用講演会・機器体験会～

子どもの学びに ICT 機器を活用するための講演会・機器体験会などを開催します。これらを通して、家庭や教育現場で役立つ具体的なアイデアや考え方、最新情報を学べる場となっています。日々の支援がより楽しく、充実したものになることを目指して、皆さまのご参加をお待ちしています。

親子・支援者向けプログラム

プログラム内容・時間 (10:00 受付開始)

※参加には事前の申し込みが必要です

1. 講演会 10:30～11:30

「学びや生活の困難さを、スマホやタブレットで解決してみませんか？」

講師：中邑賢龍（東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー）

2. 機器展示 11:45～12:45

「読む」「書く」「聞く」「話す」「計算する」「探す」など、子どもが学習や生活で使える様々なツールやアプリの便利な機能を、実際に機器に触れていただきながら体験することができます。

対象者・定員 小・中・高校生とその家族、支援に携わる方々 / 80 名程度

お申し込み <https://learn-softbank20250110.peatix.com>

こちら ▶



教員向けプログラム

プログラム内容・時間 (13:15 受付開始)

※参加には事前の申し込みが必要です

1. 講演会 13:45～14:45

「学びに困難がある児童生徒のスマホやタブレットを活用した教育とは」

講師：中邑賢龍（東京大学先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー）

2. 機器展示 15:00～16:00

「読む」「書く」「聞く」「話す」「計算する」「探す」など、子どもが学習で使える様々なツールやアプリの便利な機能を、実際に機器に触れていただきながら体験することができます。

対象者・定員 教員 / 100 名程度

お申し込み <https://learn-softbank20250110-2.peatix.com>

こちら ▶



応募期間

2024 年 11 月 29 日（金）14:00～2025 年 1 月 7 日（火）24:00 まで

※定員に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます。

「LEARN」とは

東京大学先端科学技術研究センター「LEARN」は、現代の教育課題を解決するための実践研究を行っています。社会の複雑化により、子どもたちの知識がリアリティを失い、プログラム化された教育によってレジリエンスも低下しています。効率化社会の中でユニークな子どもたちが排除されたり、全ての子どもに社会が標準的だと考える子どもに近づく努力が求められる現状を改善するため、「LEARN」は未来型のダイバーシティ教育モデルを提案・実証しています。これには、教育関係者向けの研修、子ども向けのアクティビティ、保護者向けの子育てプログラムが含まれています。

「魔法のプロジェクト」とは

魔法のプロジェクトは、ICT とこれまで培ったノウハウを活用し、インクルーシブな教育を推進する取り組みです。特別支援学校や特別支援学級、通常学級に所属する児童・生徒および教員に ICT 機器を提供し、活用実践事例を研究・公開することで、障がい児の学習・生活支援を促進することを目指しています。2009 年に開始され、これまでに 700 校以上が実践研究に協力しています。このプロジェクトは、小・中学校・高等学校・特別支援学校において ICT の効果的な活用を通じて、すべての児童・生徒の学びを支えることを目的としています。



プログラムに関するお問い合わせ先

LEARN 事務局（東京大学先端科学技術研究センター 個別最適な学び寄付研究部門内）
<https://learn-project.com/contact/>

